



開催報告

2026年3月10日（火）～11日（水）に、東京大学大気海洋研究所（AORI）と海洋研究開発機構（JAMSTEC）の共同で、JAMSTECが運用する研究船等を利用し、全国の研究者・技術者・学生等により行われた研究・技術開発の成果報告会として、「海と地球のシンポジウム2025」を開催しました。

参加登録者数は385名、発表は口頭発表38件、ポスター発表61件、特別セッション1件が行われ、多くの方にご参加いただきました。

発表および参加してくださった皆さま、シンポジウム開催へのご理解とご協力に改めて感謝申し上げます。

⇒[海と地球のシンポジウム2025プログラム](#)（PDF版をダウンロード可）

⇒[海と地球のシンポジウム2025発表課題一覧・要旨集](#)（PDF版をダウンロード可）

<学生優秀発表賞 受賞者のお知らせ>

「海と地球のシンポジウム2025」では、学生の研究活動を奨励するため、学部生・大学院生を対象に学生優秀発表賞の審査を行い、優れた発表者に表彰を行いました。

最優秀賞受賞者には賞状および記念盾、優秀賞受賞者には賞状を贈呈しました。

受賞者の皆さま、おめでとうございます！

最優秀賞（2名）

- ・口頭発表

鷺見 康介さん（北海道大学）

「環境DNAを用いた北極周辺海域におけるスケトウダラの分布域の推定」

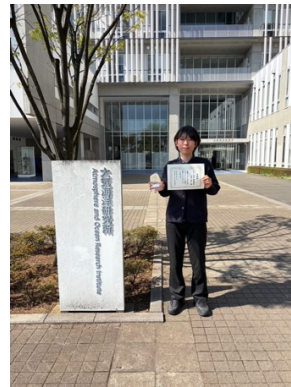
- ・ポスター発表

田島 寛子さん（東京大学大気海洋研究所）

「四国沖黒潮域の深海底堆積物におけるマイクロプラスチックの分布」



写真：口頭発表の学生優秀発表賞を受賞した鷺見康介さん
(左：閉会式にて撮影、右：名前入り記念盾との撮影)



写真：ポスター発表の学生優秀発表賞を受賞した田島寛子さん
(左：閉会式にて撮影、右：名前入り記念盾との撮影)

優秀賞 (2名)

- ・口頭発表
船木 千帆さん (東京大学)
「西部北太平洋における混合栄養性無殻繊毛虫の分布生態」
- ・ポスター発表
二村 康平さん (名古屋大学大学院)
「中央インド洋海嶺 Marie Celeste トランスフォーム断層の岩相と構造」

<特別発表について>

シンポジウム1日目では、JAMSTECの難波康広さんより「深海からのサンプルリターンを主任務とする新たな研究船の建造準備」について口頭特別発表がありました。また、2日目では、JAMSTECの高井研さんより「マリアナ沈み込み帯モワーム（MoWAME）の総合調査の概要」について口頭特別発表がありました。

発表要旨については下記のリンクよりご確認ください。

[海と地球のシンポジウム2025発表課題一覧・要旨集](#) (PDF版をダウンロード可)

<特別セッションについて>

シンポジウム1日目には、特別セッション「超深海の広域探査とサンプルリターンを目指した探査機の開発」を開催しました。本セッションでは、2025年8月に潜航深度8,015.8mを記録した深海巡航探査機「うらしま8000」の最新の取り組みを中心的なトピックとして取り上げました。冒頭にJAMSTECの志村拓也さんより全体概要が示された後、第一線で開発を担う技術者3名（中谷武志さん、渡邊佳孝さん、前田洋作さん）による口頭発表が行われました。後半のパネルディスカッションにおいても多角的な意見交換がありました。



写真：特別セッションの会場の様子



写真：特別セッションの会場での質疑応答の様子

審査員（あいうえお順）

伊藤進一	東京大学大気海洋研究所
江口暢久	海洋研究開発機構
小川浩史	東京大学大気海洋研究所
小野重明	海洋研究開発機構
志村拓也	海洋研究開発機構
難波康広	海洋研究開発機構
西部裕一郎	東京大学大気海洋研究所
藤倉克則	海洋研究開発機構
増田周平	海洋研究開発機構
矢野健彦	海洋研究開発機構
山口飛鳥	東京大学大気海洋研究所